

平成18年 12月定例市議会

平成18年第5回市議会定例会は、12月1日から20日までの会期20日間で開かれました。副市長の定数を定める条例の制定案や総額約28億5500万円の一般会計補正予算案など49議案を原案どおり可決しました。また、人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意しました。この定例会では、各会派の議員8人が議案や市政全般について質問を行いました。その概要は、次のとおりです。

新春のごあいさつ



議長
蔵本 久

皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

現在、本市は人口約47万人を擁する備後の中核都市として発展を続けておりますが、それらにふさわしい都市機能の整備が求められています。

特に、福山駅前については昨

年7月に、駅南有料自転車駐車場と駅西送迎専用駐車場が完成したところですが、さらなる利便性の向上を図るため、今年度中には駅前広場の整備事業に着手する予定です。

福山市議会としては、活力と魅力あふれるまちづくりに向け、その役割を果たしてまいりたいと存じます。

この市議会だよりを通じて議会の活動内容をお知らせしますので、ご愛読をお願いいたします。

皆さまのご多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

質問および答弁(要旨)

いじめ問題への取り組み (水曜日)

問 いじめ問題に対する個々の教員の指導力は、いろいろ議論されているが、いじめに対処する本市の指導方針と、家庭、地域に対する取り組み状況は。

答 指導方針として、①いじめは人間として絶対に許されないことであり、君たちを絶対に守ってみせるとの決意を繰り返し児童生徒に伝える。②今後も、学期ごとに個人面接を実施して、児童生徒の不安や悩みを把握し、早期に解決を図る。③課題のある学校に対しては、指導主事を派遣し、指導・援助することに力を置いて取り組んでいる。

また、児童生徒、保護者に対し、教育相談機関の一覧を配布し、保護者、地域に向けてアピールした。

◆関連質問

- ・加害児童生徒への対応(明政会)
- ・いじめ問題への対策として直通ホットラインの設置を

(市民連合)

- ・いじめ撲滅に向けて、方針と具体的施策 (公明党)
- ・いじめ問題 (新政クラブ)
- ・いじめなど教育の諸課題 (日本共産党)

いじめ防止について(誠友会)

第四次福山市総合計画の策定に向けて(市民連合)

問 福山市基本構想が議決されたが、基本計画、実施計画の立案、公表など、今後のスケジュールは。また、計画策定に向け、市民参加と周知、方針や目標、施策を達成するための人づくりの基本はどう考えているのか。

答 現在、基本構想の実現を図るために必要な施策を体系的に示す基本計画を策定中で、2月中旬ごろまでに原案を作成し、議会へ報告したい。

3年間の実施計画は、基本計画を踏まえ、市民への説明を行い、意見も聞きながら、新年度の早い時期に策定できるよう取り組む。

市民への周知は、総合計画書の概要を広報臨時号として各戸へ配布、ホームページへも掲載し、説明会の開催も検討する。